

令和 5 年 1 月 10 日

羽曳野市議会議長 様

- 会派名 公明党  
 代表者名 通堂 義弘  
 議員名



（ 令和4 年度 第 3 四半期 ） 政務活動費収支報告書

羽曳野市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第1項の規定により、政務活動費の交付の対象となる政務活動費に要した収入及び支出について、下記のとおり報告します。  
 記

1 収入  
 交付済額 181,080 円

2 支出

項目	金額	政務活動費を充てた主な経費	※ 第1四半期から 第4四半期の合計金額
調査研究費			
研 修 費			
広 報 費	34,282	市議会ニュース発行費	
広 聴 費			
要請、陳情活動費			
会 議 費			
資料作成費	60,230	カラー複合機リース費・印刷費	
資料購入費	8,250	新聞購読料	
計	102,762		

※第4四半期の実績報告を行う場合は、第1四半期から第4四半期の合計金額を記入すること。

様式第6号 (第6条関係)

( 令和4 年度 第 3 四半期 ) 政務活動費支出内訳書

会派名 公明党

経理責任者 通堂 義弘



議員名



項目		広 報 費		
支払年月日	使 途	金 額 (円)	内 訳	添付書類番号
2022年10月9日	市政報告通信代	8,982	とぞの康裕通信2022年秋号	広報-1
2022年11月11日	市政報告通信代	25,300	つうどう義弘通信2022年秋号	広報-2
(小計)				
合 計		34,282		

様式第8号(第6条関係)

領収書等貼付用紙

支出内容	広報費：市議会・市政報告「とぞの康裕通信」2022年秋号 作成費	
支出額	8,982円	※消耗品の場合 <b>【使用場所の区分】</b> <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	円	
(按分： %)		
2,000枚 8,165円+817円(消費税) = 8,982円		
領収書：別紙添付		

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。  
 ※補足事項があるときは、余白に記入すること。

領収書



日付: 2022年10月09日  
領収書番号: R-221004757408

外園 康裕 御中



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

**¥8,982-**

但し 商品代として  
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品概要 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
221004757408-01	(とその通信_202209) チラシ・フライヤー,A4,両面カ ラー,光沢紙(コート),標準: 90kg,折り加工: 外3つ折り	2,000部	2022年 10月9日	¥8,165

注文内容:	商品:	¥8,165
注文合計:		¥8,165
消費税:		¥817
ご請求合計金額:		¥8,982

お支払い方法: クレジットカード

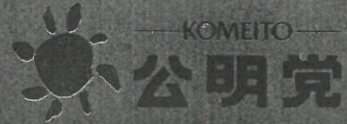


# とぞの康裕通信

定期刊行物

2022年 秋号  
2022年 10月発行

発行元：羽曳野市議会議員 外園康裕（会派・公明党）  
〒583-0884 羽曳野市野 270-27 TEL/FAX：072-953-8406



## ごあいさつ



皆さまこんにちは、市議会議員のとぞの康裕です。

平素より大変お世話になっております。心から御礼を申し上げます。

今年は毎週末に台風が日本列島に近づいてきますね。被害にあわれている方には心からお見舞いを申し上げます。

私の母が鹿児島県出身なのですが、母の妹など多くの親戚が鹿児島県に暮らしています。私のいとこに聞いてみたところ、大きな被害は出ていないとのことでしたが、台風シーズンとはいえこのように頻繁に大雨・暴風警報が出されることは珍しいと話していました。

近年の気候変動で線状降水帯が発生するなど、どこにいても大雨にさらされる危険はあり、羽曳野市も例外ではありません。気象情報をよく確認しながら、いつでも自分の身を守ることを念頭に置いて行動するようにしてください。

これからも、皆様のお声を大切にしながら、精いっぱい仕事をさせていただき所存ですので、今後ともご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いたします。

## 新型コロナウイルスワクチン「オミクロン株対応ワクチン」接種開始

対象は、2回目までの接種が完了した12歳以上の方です。（10月以降に接種券が届きます。）

○3・4回目の接種券がお手元にある方には、改めて送付されません。

○1・2回目の接種を終えられていない方は、オミクロン株対応ワクチンは接種できません。

○オミクロン株対応ワクチン接種は、現時点では一人1回の実施です。

詳細については、広報誌、市ウェブサイトでご確認いただくか、市のコールセンター（0570-071-105、平日9:00～17:15）や新型コロナウイルス対策室（072-957-3320、直通）にお問い合わせください。

## 2021年度 羽曳野市 決算

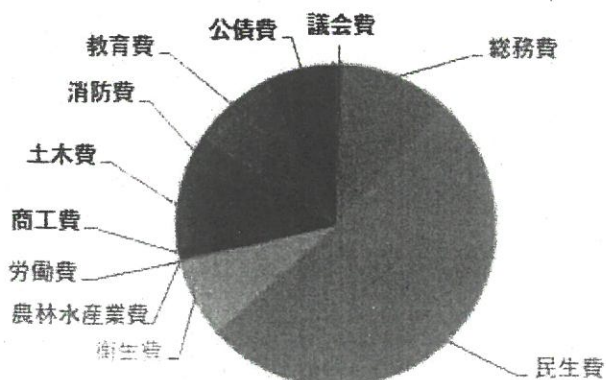
2021年度羽曳野市一般会計決算が、羽曳野市議会において認定されました。

また、各種特別会計、水道事業会計、下水道事業会計についても認定されました。

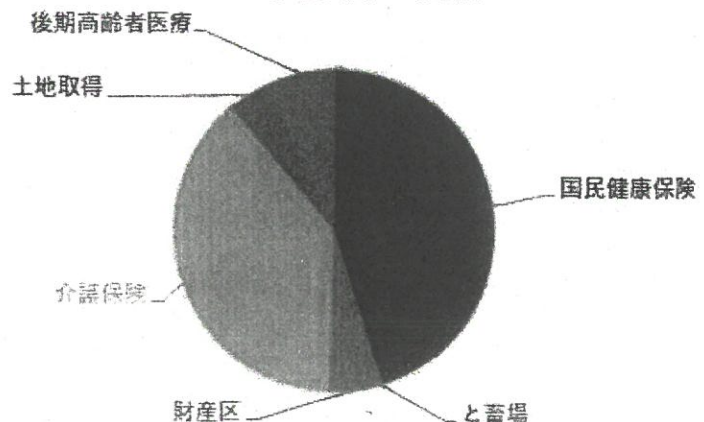
これらは、総務文教・民生産業・建設企業の各常任委員会において、慎重に審議されたものです。

市民の皆様からお預かりしている税金です。大切にに使わせていただいた結果ですので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

### 2021年度 一般会計 歳出（内訳）



### 2021年度 特別会計







今回は、市民の声からまとめた質問を3つ取り上げました。

## 《渋滞緩和について》

**質問** 国道170号西浦交差点、道の駅しらとりの郷・羽曳野の前の交差点の現状と今後の市の考えは？西浦交差点に右折レーンが設置されて供用開始となる時期はいつ頃か？

**答弁** 道の駅入り口前に滞留区間の設置、当市においても車両誘導看板等を設置するなどの対策を講じている。西浦交差点の渋滞緩和に向け、令和5年度には詳細設計に取り組み後の工事につなげ、令和6年度工事完成に向け取り組んでいく。

**要望** 国道170号、府道美原太子線、八尾富田林線は、災害時に大変重要な役割を果たす緊急輸送道路である。八尾富田林線の全面開通も含め、これら主要な道路の整備について、今後も大阪府に対して力強く声を上げ続けていただきたい。

## 《蜂の巣の駆除について》

**質問** 市民の方からの蜂の巣駆除に関するご相談はどれくらいあるのか？相談があった市民の方への具体的な説明？蜂の巣駆除にかかる費用の補助制度を実施しているところはないのか？

**答弁** 毎年5月のゴールデンウィークを過ぎた頃から徐々に増加し、ワンシーズンで約100件の相談や問合せがある。まずは被害に遭わないよう注意すべき対応伝え、個人の自宅や民間敷地の場合は駆除や予防対策に加え、民間の駆除業者を案内している。市が管理する公園や公共施設等の場合は、アシナガバチなど小規模なものは職員が殺虫剤等で対応し、危険性の高いスズメバチは専門業者に依頼し駆除している。府内の一部の市において、障害者や高齢者世帯に限定し補助金を支給している市もあるが、近隣市にはない。

**要望** 障害者や高齢者世帯に限定してでも導入に向けて検討していただきたい。スズメバチの巣は緊急を要する場合もある。条件などのルールを決めた上で予算措置が取れるようにしておくなど、市民を守ることを最優先した取組を導入することを強く要望する。

## 《男性トイレへのサンタリーボックスの設置について》

**質問** 男性でもおむつや尿漏れパッドを使用する方が増えている。男性用トイレでもサンタリーボックスが求められるようになってきた。トランスジェンダーの方への配慮としても設置が望まれてきている。市民の方からの問い合わせの有無、今後の市の考えは？男性用トイレの入り口にそれと分かるような表示をされているところが多いようだが、検討していただけるのか？

**答弁** 市民からの問い合わせはない。現在、本庁及び別館では設置していない。今後は、男性用トイレにもサンタリーボックスを設置する方向で検討していく。周知はフェイスブック等SNSを利用し行っていく。男子トイレの入り口及び個室のドアに、分かるように案内表示等をしていく。

**要望** 今回の私の質問は、市民の声を基に取り上げさせていただいた。今後も、市民の安心と安全に向けて着実に取り組んでいただくことを強く要望する。

## 空家等対策に進展 ～宅建業協会と協定を締結～

羽曳野市と大阪府宅地建物取引業協会 南大阪支部は、令和4年5月26日に「羽曳野市における空家等の対策に関する協定書」を締結しました。(2020年12月議会でもその康裕が提案)

この協定は、宅地建物取引業協会と相互に連携・協力して空家等対策に取り組むことにより、建物の所有者や相続権者に対し、**当市だけでは実現出来なかった「流通・利活用」という新たな側面からのアプローチ**により、空家等の対策がより促進されることを目的としています。



- ・所有者等からの求めに応じて、**空家等の売却、賃貸、その他空家等の流通及び利活用に関する支援業務に無償で取り組む。**
- ・中古住宅の流通の促進を目的とした啓発及び情報発信を実施する。
- ・所有者等から同意を得た場合には、**空家等に関する情報を「大阪府宅地建物取引業協会 南大阪支部」に提供し、羽曳野市より得た情報を基に協力事業者を選定し、支援業務に当たらせる。**



様式第8号(第6条関係)

領収書等貼付用紙

支出内容	広報費：市議会・市政報告「つうどう義弘通信」2022年秋号 作成費	
支出額	25,300円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	円	
(按分： %)		

2,000枚 23,000円+2,300円(消費税) = 25,300円

通堂義弘 領収証  
羽曳野市議会公明党様  
R4年11月11日

税込金額	¥25300-	お買上額	
但しつうどう義弘通信2022秋冬号2枚		消費税	
上記の金額正に領収いたしました2000枚			



**ISS スリーエス**  
〒586-0096 河内長野市自由ヶ丘1-2-207  
TEL (0721) 51-2894  
FAX (0721) 35-2821



納品書

No. 000297

羽曳野市議会公明党 通堂義弘 様

平成2022年10月18日

下記の通り納品致しました

**ISS スリーエス**

〒586-0096 河内長野市自由ヶ丘1-2-207  
TEL (0721) 51-2894  
FAX (0721) 35-2821

品名	数量	単価	金額	摘要
つうどう義弘 通信 2022秋・冬号				
三つ折り	2,000枚		23000	
消費税相当額			2300	
合計			25300	



2022年秋号

(会派・公明党)



# つどろ義弘 通信



定期刊行物

通 堂 よ し ひ る

発行元:羽曳野市議会議員 通堂 義弘 羽曳野市西浦2-1724-50 ☎072-957-5737 Fax:072-921-1091

## ごあいさつ

皆様こんにちは、日頃は真心のご支援を賜り、ありがとうございます。

9月1日は「防災の日」でした。「防災の日」は、台風、津波や地震等の災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するためとして、1960年に制定されました。各地で、イベントや訓練が行われていますが、一人一人が“大災害の時代”を生きているとの認識を持ち、防災・減災の主体者であるとの自覚を新たにしたいと思えます。

私は災害から皆様が安心して暮らせる街づくりの為に、防災士の資格を取得しました。今後も皆さまの命と財産を守る施策の充実に取り組んでまいります。



ごっかい!「ボール紙」



## はびきの 暮らし応援商品券 10月1日より使用できます!!

使用期間:令和4年10月1日(土)から12月31日(日)まで

商品券を使用できる取扱店については  
羽曳野市ウェブサイトをご確認ください。  
約400店舗で使用可能!!



市ウェブサイト



最新店舗一覧

### 【購入方法】

「購入券」に購入金額を添えて販売窓口にてお買い求めください。

「購入券」の購入者氏名欄に販売窓口に来られる方の氏名をご記入ください。

商品券は、家族分をまとめて購入したり、代理人(知人や近所の方等の第三者)が購入することも可能です。

お釣りが出ないように配慮をお願いします。

商品券の購入・使用に関する問い合わせ先  
羽曳野市プレミアム付き商品券事業コールセンター

☎ 0120(983)623

[10・11月]平日のみ / 9:00 ~ 17:00 (土日祝は非対応)

### ◎購入金額

1冊あたり2,500円(お一人につき2冊まで購入可能)

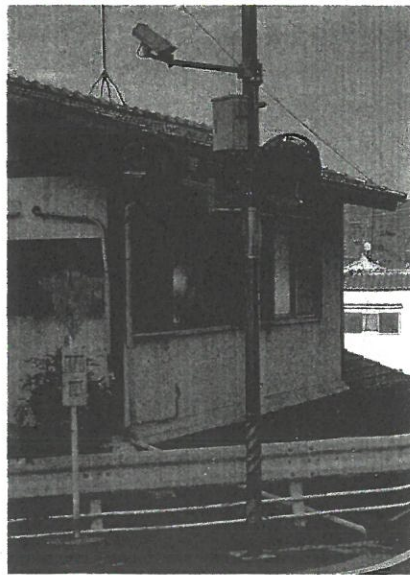
### ◎購入期間

令和4年9月20日(火)から11月30日(水)まで

9月9日(金)、静岡県牧之原市の幼稚園で3歳の園児が送迎バスに置き去りにされ熱中症で死亡した事件に対し、羽曳野市でも起きない様に、山入端市長に、【保育園・幼稚園・認定こども園における児童を守る事故防止強化】を公明党市議団で要望致しました。



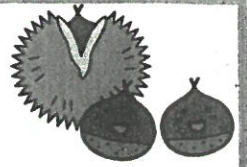
東阪田地域(西浦東小学校裏門付近)古く曲がっていたカーブミラーを新しい物に替え見やすくなりました。





# 令和4年9月定例会 一般質問(抜粋)

## 《災害時への備えについて》



●質問 災害に備えて、被害を拡大させない為のタイムライン(防災行動計画)は、豪雨や台風といった災害を想定し、行政や住民らが命を守る為に取り組むべき防災行動を、いつ誰が何をという視点で時間軸に整理したもので、本市でのタイムラインの取組を伺う。又、災害用トイレの備蓄状況、高齢者や女性への配慮について伺う。

●答弁 令和元年度に策定し、災害に対して、先を見越した早めの行動や不測の事態に対応していけるよう活用している。地域住民の方々が災害に備えてコミュニティタイムライン作りに取り組み、地域住民の方々による自主防災活動が向上するよう、意識啓発や情報提供、研修の開催、地域で開催される防災訓練への参加など、積極的な支援を引き続き行う。災害用トイレについては、組立て式仮設トイレや便器への据付けや単独使用ができる簡易トイレを指定避難所等に必要量備蓄している。仮設トイレの対応協力を民間事業者とも災害協定を締結している。避難される高齢者や女性の方々が安心して使っていただけるような環境についても併せて考慮している。

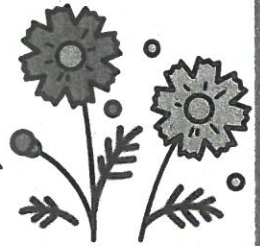


●要望 タイムラインは、作るだけではなく、使い続ける癖をつける事が重要。その為には、タイムラインに精通した防災士等の地域人材の育成も急がれる。今後は、町会など地域で作るコミュニティタイムライン、個人で作るマイ・タイムラインを広げる為、強力な推進を要望する。

## 《自立支援について》

●質問 ひきこもりの人への支援は、対応の難しさから、地域福祉の最後の課題とされている。本市において、家族に対してのセミナーは行っているのか伺う。行政や教育機関、地域支援者との連携を図り、ネットワークの構築が重要と考えるが、現在の状況、今後の展望を伺う。

●答弁 ひきこもり状態にある方へのサポートについて、家族に対してのセミナーは行っていないが、自立相談支援事業を羽曳野市社会福祉協議会に委託して実施している。生活に困窮されている場合は、その中でひきこもり状態にある方の相談に応じている。又、障がい、生活困窮、高齢者をはじめ、様々な相談窓口があり必要に応じて連携を図っている。関係機関とのネットワークは、市内3つの圏域にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、障がい、高齢者等の属性や分野に関係なく、支援の必要な方の相談に応じ、必要な支援に結びつけて、関係機関、団体や地域の方とつながりを持ちながら、問題解決に向けて、家族を含む当事者を支援している。



●要望 相談窓口があっても行けない方もいる。そのような方に対して期待されるのが、アウトリーチ訪問支援です。ひきこもりへの支援は、時間と労力がかかるとされている中、継続的に訪問して、本人と家族を支えていく。手紙を使って効果を上げた事例もある。今後、本市でも、このような相談窓口の設置を要望する。

## 《台風・大雨》

台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見聞きしたら、危険な場所には近づかないようにしましょう。また、災害への備えをもう一度確認して下さい。

- ・非常用持ち出し品の点検をしましょう。
- ・避難場所までの道順を確認しておきましょう。

市区町村長からの避難指示があった場合は、あわてず速やかに避難しましょう。

- ・避難の前には、必ず火の始末をしましょう。
- ・避難の際の持ち物は最小限にして、背中に背負うなど両手が自由に使えるようにしておきましょう。



※ 忘れ物をした場合も、取りに戻るの危険ですのでやめましょう!





## 領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：コピー機のリース料	
支出額	111,540円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	55,770円	
(按分： 50%)		
複合機リース料：10月～12月分 ・10月分：33,800円+3,380円=37,180円 (1/2 18,590円) ・11月分：33,800円+3,380円=37,180円 (1/2 18,590円) ・12月分：33,800円+3,380円=37,180円 (1/2 18,590円)  計 111,540円 (1/2 55,770円)		

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

※補足事項があるときは、余白に記入すること。

## 支 払 証 明 書

番号	支払年月日	項 目	支払額(円)	支払先	使途及び支払内容	領収書を徴し得ない理由	備 考
①	2022年10月3日	資料作成費	18,590	三井住友 トラスファイナンス	コピー機のリース代	銀行口座自動引き落の為	37,180円×按分率1/2
②	2022年11月4日	資料作成費	18,590	三井住友 トラスファイナンス	コピー機のリース代	銀行口座自動引き落の為	37,180円×按分率1/2
③	2022年12月5日	資料作成費	18,590	三井住友 トラスファイナンス	コピー機のリース代	銀行口座自動引き落の為	37,180円×按分率1/2
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							

上記のとおり相違ないことを証明します。

2023年1月10日

会派名 公明党

代表者名又は議員名 通堂義弘



※按分により政務活動費の支出を行った場合には、「備考」欄に支払総額及び按分割合を記載すること。



# リース お支払明細書

2021年 5月24日作成

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは、弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。早速でございますが、ご契約いただきました内容を、お知らせ申し上げますので、ご確認賜りたくお願い申し上げます。

万一、ご不明な点がございましたら、弊社までご連絡くださいますようお願い申し上げます。ご逢ともお引立のほどよろしくお願い申し上げます。

敬 具

リース機器 5003023740

商品名 1 左記他 商品

096333 ネットシステム (株)

リース期間 自 2021年 5月13日 至 2027年 5月12日

72 ヶ月

リース料等

月間リース料 33,800 円

消費税額等 3,380 円

合 計 37,180 円

支払 第1回支払日 2021年 7月 3日

第2回支払日 2021年 8月 3日

第3回目以降 毎月 3日

お支払方法 自動振替

前払リース料等

前払リース料 0 円

消費税額等 0 円

合 計 0 円

最終 ヶ月分のリース料、消費税等に充当します

\*前払リース料及び消費税額等には利息は付しません。

金融機関名

支店名

口座種別

口座番号

口座名義人 コウメイノウ カサハラミコ

回 目	お支払 年 月	リース料 円	消費税額等 円	備 考	回 目	お支払 年 月	リース料 円	消費税額等 円
121	7	33800	3380		4325	1	33800	3380
221	8	33800	3380		4425	2	33800	3380
321	9	33800	3380		4525	3	33800	3380
421	10	33800	3380		4625	4	33800	3380
521	11	33800	3380		4725	5	33800	3380
621	12	33800	3380		4825	6	33800	3380
722	1	33800	3380		4925	7	33800	3380
822	2	33800	3380		5025	8	33800	3380
922	3	33800	3380		5125	9	33800	3380
1022	4	33800	3380		5225	10	33800	3380
1122	5	33800	3380		5325	11	33800	3380
1222	6	33800	3380		5425	12	33800	3380
1322	7	33800	3380		5526	1	33800	3380
1422	8	33800	3380		5626	2	33800	3380
1522	9	33800	3380		5726	3	33800	3380
✓1622	10	33800	3380		5826	4	33800	3380
✓1722	11	33800	3380		5926	5	33800	3380
✓1822	12	33800	3380		6026	6	33800	3380
1923	1	33800	3380		6126	7	33800	3380
2023	2	33800	3380		6226	8	33800	3380
2123	3	33800	3380		6326	9	33800	3380
2223	4	33800	3380		6426	10	33800	3380
2323	5	33800	3380		6526	11	33800	3380
2423	6	33800	3380		6626	12	33800	3380
2523	7	33800	3380		6727	1	33800	3380
2623	8	33800	3380		6827	2	33800	3380
2723	9	33800	3380		6927	3	33800	3380
2823	10	33800	3380		7027	4	33800	3380
2923	11	33800	3380		7127	5	33800	3380
3023	12	33800	3380		7227	6	33800	3380
3124	1	33800	3380		**合計**	**	2433600	243360
3224	2	33800	3380					
3324	3	33800	3380					
3424	4	33800	3380					
3524	5	33800	3380					
3624	6	33800	3380					
3724	7	33800	3380					
3824	8	33800	3380					
3924	9	33800	3380					
4024	10	33800	3380					
4124	11	33800	3380					
4224	12	33800	3380					

様式第8号(第6条関係)

## 領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：(ネットシステム)	
支出額	2,648円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額  1,324円  (按分： 50%)		
コピー機 9月カウンター料		
領 収 証		
		No.002793
公明党羽曳野市議団 様		2022年10月26日
金額	¥2,648-	
但し	9月分 カウンター料として 上記の金額正に領収いたしました	
取 入 印 紙	内 訳	
	税 抜 金 額	
	消費税額等( %)	
		ネットシステム株式会社 〒584-0036 大阪府富田郡中田1-10-12 TEL: (072) 23-7611(代) FAX: (072) 23-7650
		担当印

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

※補足事項があるときは、余白に記入すること。



様式第8号(第6条関係)

領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：(ネットシステム)	
支出額	2,448円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	1,224円	
	(按分： 50%)	
コピー機 10月カウンター料		

領 収 証

No.002805

公明党 羽曳野市議団 様

2022年11月28日

金額

¥2,448-

但し10月分 カウンター料として  
上記の金額正に領収いたしました

収 入  
印 紙

内 訳  
税 抜 金 額  
消 費 税 額 等 ( % )

ネットシステム株式会社  
〒584-0016 大阪府東淀川区中田1-10-12  
TEL. (06) 653-7611(代)  
FAX. (06) 653-237650

担当印

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。  
※補足事項があるときは、余白に記入すること。

様式第8号(第6条関係)

## 領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：(ネットシステム)	
支出額	3,825円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	1,912円	
(按分： 50%)		
コピー機 11月カウンター料		

## 領 収 証

No.002819

2022 年 12 月 26 日

公明党 羽曳野市議団 様

金額

¥3,825-

但し 11月分カウンター料として  
上記の金額正に領収いたしました

 収 入  
印 紙

内 訳

税 抜 金 額

消費税額等( %)

 ネットシステム株式会社  
 〒584-0366  
 大阪府東淀川区甲田1-10-12  
 TEL. (06) 723-7611(代)  
 FAX. (06) 723-7650

担当印

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。  
 ※補足事項があるときは、余白に記入すること。



様式第8号(第6条関係)

領収書等貼付用紙

支出内容	資料購入費：(日本教育新聞)	
支出額	8,250円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	円	
(按分： %)		
2022年10月分～12月分	33,000円÷12ヶ月=2,750円 3ヶ月分=8,250円	
領収書：別紙添付		

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。  
 ※補足事項があるときは、余白に記入すること。

# 領収証

羽曳野市議会 公明党  
通堂 義弘 様  
(コード: 69 - 483253 )

金額 : ¥33,000-

但し 日本教育新聞 購読料

購読期間(年月) : 2022年6月 ~ 2023年5月

支払方法 : クレジットカード決済

領収日 : 2022/6/18

上記の金額正に領収いたしました

株式会社日本教育新聞  
東京都港区白金1-10-10  
TEL 03-3280-1125

印 収  
紙 入

扱  
者  
印



連載 学校の危機管理「子どもが行方不明」(4面) / 高校の学食 生徒を中心に改革(9面)



教育界と共に歩んで  
76周年

創刊 1946(昭和21)年5月1日  
発行所  
日本教育新聞社  
〒108-8638  
東京都港区白金台3-2-10  
電話 03(3280)7008(大代表)  
郵便振替 00150-8-196500  
©日本教育新聞社 2022  
ご購読申し込み  
〒03(3280)7025  
Eメール kodoku@kyoiku-press.co.jp  
ホームページ  
http://www.kyoiku-press.co.jp

このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本教育新聞電子版のページにアクセスできます。

注目記事

塾で導入広がる「講義動画」  
講義動画などICT教材を活用している学習塾割合は約半数に達している。「教える」は動画「育てる」は講師とした学習塾もある。学校教育は違った学習の場面が広がっている。

ヤングケアラー対策

「調査」の次の段階へ

出張授業、シンポジウム開催も

ヤングケアラー問題を巡り、全国で実態が明らかになりつつあり、対策は次の段階に進もうとしている。埼玉県教委は昨年度から、出張授業の形式で、ヤングケアラー問題を中学生・高校生に説明する事業を始め、本年度は小学生へと拡大させた。愛知県では今夏、ヤングケアラー理解促進シンポジウムを開き、半田市立半田中学校の小島正嗣校長が日記指導に力を入れてヤングケアラーの兆候をつかむなどの対策を報告した。



演劇交え児童を啓発

埼玉県は令和2年3月を調べ、児童・生徒向に月末に、18歳未満で親の啓発資料を作成・配布するなどしてきた。家族の世話を担った経験のある人の講話や、専門家による解説

つが久喜市立栗橋南小学校。小学校での実施は初めてで9月13日に6年生は体育館で、5年生はオンライン形式で、この授業を受けた。同小学校では、成蹊大学の澁谷智子教授が

は何かを説明した上で、ヤングケアラー経験がある人が自分の過去について語るなどした。

演劇の場面では、同小学校の教員が主人公となり、病気の母親と特別支援学校に通う弟の世話をする女兒を演じた。

この出張授業には実際に、2人のスクールソーシャルワーカーと同小学校の正門前でサッカークラブを運営し、子どもの居場所事業を行っている人が立ち会い、悩みがあったら相談するよう呼び掛ける場面を設けた。

埼玉県では、ヤングケアラーに関する相談窓口や啓発資料などをホームページ上でまとめて紹介している。その中に、ヤングケアラーだった人が自分の経験を語る動画もある。

前半では、家族の世話のため、遅刻したり、宿題が期限内に間に合わなくなったたりして、つらい生活を送っていることを描いた。

後半では、女兒が学校で教員に家族の状況を打ち明けてから、ホームヘルパーの支援を受けるとして、生活模様が一変。教員をはじめ、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど、教員以外にも、相談に乗ってくれている人がいることを紹介した。

この出張授業には実際に、2人のスクールソーシャルワーカーと同小学校の正門前でサッカークラブを運営し、子どもの居場所事業を行っている人が立ち会い、悩みがあったら相談するよう呼び掛ける場面を設けた。

日記指導で兆候把握

愛知県が行ったシンポジウムの模様は、いいと思わなかった。第一は、不登校傾向だとした。

に希死念慮をつづたりする場合もある。そうした生徒の場合、学級担任だけでなく、スクールカウンセラーなどに





教育界と共に歩んで  
76周年

創刊 1946(昭和21)年5月1日  
発行所  
日本教育新聞社  
〒108-8638  
東京都港区白金台3-2-10  
電話03(3280)7008(大代表)  
郵便振替 00150-8-196500  
©日本教育新聞社 2022  
購読申し込み  
〒03(3280)7025  
Eメール kodoku@kyoiku-press.co.jp  
ホームページ  
http://www.kyoiku-press.co.jp



このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本教育新聞電子版のページにアクセスできます。

注目記事

歩行時ヘルメット、広がらず  
事故や災害に備え、小学生が歩いて通学する際、ヘルメットをかぶる地域がある。その一つ、静岡県近郊の状況を調べたところ、4年前とほぼ同じ3割の小学校で着用を指導しているにとどまった。

# 中3生6割強「非現金払い」

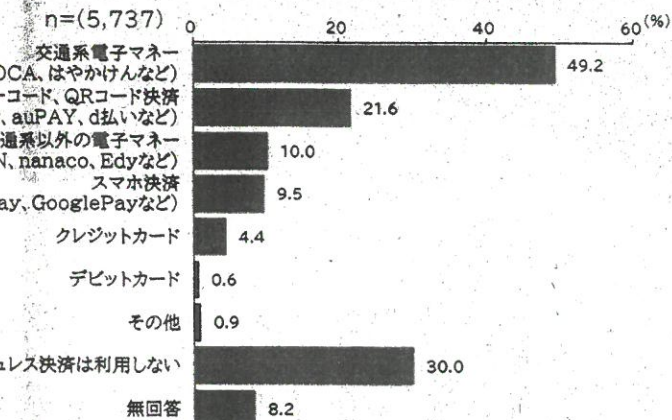
## 交通系電子マネーを中心に

証券業協会調査

交通系電子マネーを中心に中3生の6割強がキャッシュレス決済を利用していることが日本証券業協会の調査で分かった。クレジットカードを使っている割合は5%に満たず、同時に教員を対象として行った調査では、教えることが難しい、または、生徒が理解しにくい学習内容として「クレジットカードによる支払いと三者間契約」が他の分野よりも多かった。

この調査は、金融経済教育の実態を探ろうと抽出した中学校を対象に実施。アンケート用紙とインターネットで回答を受け付け、教員からは2536件、第3学年の生徒からは5737件の回答を得た。回収率は教員が15%、生徒が77%だった。

### 3生のキャッシュレス決済利用状況



### 年度初めの教員の欠員

## 小学校14%、中学校15%

全公教調査

ス決済に関し、「今回の改訂では、キャッシュレス化の進行に伴い、小・中・高等学校の改訂では、キャッシュレス化の進行に伴い、中学校に金銭の管理している。

全国公立学校教頭会 (会長 漆崎英二・埼玉東越谷市立越ヶ谷小学校教頭) はこのほど、教員不足の実態やGIGAスクール構想の現状に関する全国調査の結果をまとめ、令和4年度の始業時点で、本来配置されるはずの教員が欠員していたのは、小学校13・9%、中学校15・2%に及んだことが分かった。調査は今年5月から7月にかけて全会員に行っ

### 採用試験、実習の前倒

## 中教審 答申素案主

中央教育審議会の特選部会は10月24日、教員の養成・採用・研修の改善を求める答申素案をまとめた。教員志望者の確保のため、採用試験を前倒することを検討している。1・3カ月程度の前倒しを想定している。また、既に文科省は10月中旬に教育委員会や大学の関係者と協議会を発足し、検討を始めようとしている。1・3カ月程度の前倒しを想定している。また、既に文科省は10月中旬に教育委員会や大学の関係者と協議会を発足し、検討を始めようとしている。1・3カ月程度の前倒しを想定している。



提言「学校は命懸けで行く場所ではない」(5面) / 群馬県 生徒の姿から授業をデザイン(1)



教育界と共に歩んで

76周年

創刊 1946(昭和21)年5月1日

発行所

日本教育新聞社

〒108-8638

東京都港区白金台 3-2-10

電話 03(3280)7008(大代表)

郵便振替 00150-8-196500

©日本教育新聞社 2022

ご購読 03(3280)7025

申し込み Eメール kodoku@kyoi

ku-press.co.jp

ホームページ http://www.kyoku

ku-press.co.jp



このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本教育新聞電子版のページにアクセスできます。

注目記事

教員採用試験の早期化に賛否 教員採用試験を受ける人が減っている。政府は、民間企業の就職活動の日程を考慮し、早期化を検討している。結論はまだ先だ。関係者からは賛否それぞれの声が上がっている。

物価上昇、勉強面に悪影響

困窮世帯へ 病気にともなりやすく 民間調査

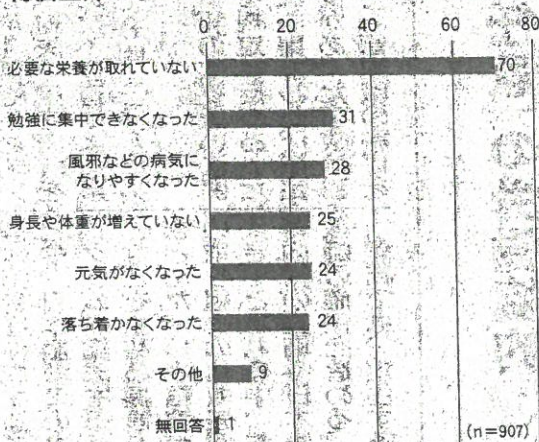
子育て中の生活困窮世帯のうち、半数近くが最近の物価上昇により子どもの心身への悪影響が出ていると考えていることが民間団体の調査で分かった。栄養面を筆頭に「勉強に集中できなくなった」「風邪などの病気になりやすくなった」などが挙げられている。高校生がいる世帯に進路状況を尋ねたところ、2割弱が経済的理由で志望校を諦めたと答えている。調査した団体では、政府に対し、現金給付などを求める緊急提言をまとめている。

この調査は、生活困窮世帯の子どもの学習や生活を支援している認定NPO法人のキッズドア(渡辺由美子理事長)によるもの。今月中旬、同法人の支援

子どもと地域の課題

「悪影響が出ている」が16%、出ている「または悪影響が出ている」と

物価上昇が子どもに与えている影響(複数回答、%)



「悪影響が出ている」が16%、出ている「または悪影響が出ている」と

「学校・家庭・地域が丸で」

日本PTA 永岡文科相が祝辞

公益社団法人の日本PTA全国協議会は11月18日、本年度の年次表彰式を都内で開いた。顕著な業績を上げた団体、個人に表彰状を授与した他、第44回全国小・中学校PTA年次表彰式。永岡文科相が祝辞を述べ、PTA活動に尽力された。その振興に多大な貢献をされた功績に対し、深く敬意を表する。子どもたちがこれからの社会を担っていく上で、学校・家庭・地域が連携して子どもを育てることが重要だと述べた。加えて、「学業に

ていない」を70%が挙げ、「勉強に集中できなかった」「友達と遊びに行くのを減らなくなった」(31%)、「風邪などの病気になりやすくなった」(28%)、「身長や体重が増えていない」(25%)が続いた。物価上昇による子どもの学びや生活の変化に関する設問では、多かった順に「学校外の学びの機会を減らし、(46%)」、「参考書が購入できない」(40%)、「模試を受けられない」(23%)が続いた。「経済的理由で志望校を諦めた」は19%が挙げた。緊急提言では、困窮世帯への継続的な現金給付など3項目を掲げた。現金給付に関しては、これまで非課税世帯に